

PRESS RELEASE

2005年3月23日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、閉域ネットワークに対応したネットワークマネジメントシステム「SMF-LAN」を開発

-- 通信事業者向けに IPv6 技術を生かした通信機器の一元管理システムを提供開始 --

株式会社インターネットイニシアティブ(以下 IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一)は、広域イーサネットサービス等の閉域ネットワークに対応した、通信機器の一元管理(初期設定、設定更新および監視等)を可能とするシステム「SMF-LAN」を開発^(*)し、新しいネットワークサービスプラットフォームとして提供を開始いたしました。

(*) 特許申請中(申請番号 2004-322198)

IIJ は、既に 2003 年 6 月から、インターネット上のルータを一元的に遠隔管理するネットワークマネジメントシステム「SMF」を提供してまいりました。同システムは、機器運用・管理コストの削減、高いセキュリティおよび簡易な操作性等を実現することからお客様に高く評価され、全国にインターネット VPN を用いた多拠点ネットワークを構築する企業や、インターネット VPN サービスを提供する通信事業者を中心に、既に約 3,000 拠点に導入されております。

SMF-LAN は、インターネット上で利用する従来の SMF の技術をベースに、広域イーサネットサービス等の閉域ネットワーク上で利用可能なネットワークマネジメントシステムとして開発されました。広域イーサネットサービス等を提供する通信事業者が SMF-LAN をサービスプラットフォームとして利用することで、宅内ルータを管理するサービスの提供にかかるコスト、および広域イーサネット上で WAN を構築しているエンドユーザのネットワーク管理コストを大幅に削減することが可能となります。

また、SMF-LAN システム内の機器間の通信に IPv6 を用いることにより、お客様の既存の IPv4 ネットワークには影響を与えることなく、通信機器の一元管理を可能としています。

今回の SMF-LAN システムの提供開始に伴い、KVH 株式会社(以下 KVH、本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:ラケッシュ・バシン)が、イーサネットサービス「Ether-MAN」のオプションとして提供しているマネージド・サービス向けに採用されます。SMF-LAN の導入により、サービス開通プロセスの簡素化の実現が見込まれています。

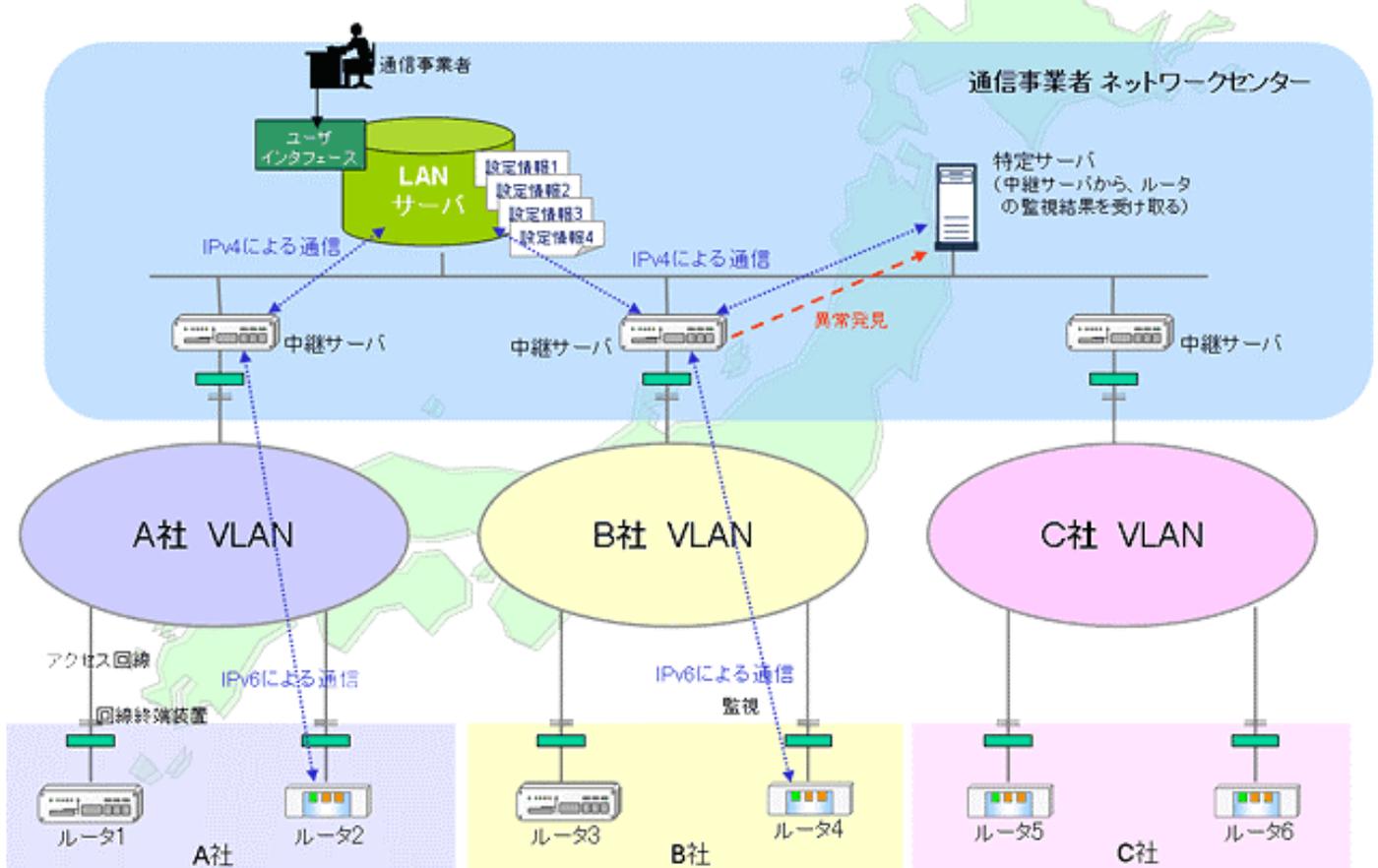
IIJ は、引き続き、全国に多数拠点を擁する企業や通信事業者等に SMF を積極的に展開し、2005 年度中に約 12,000 拠点への導入を目指します。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 米山、中川

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>



【 SMF-LAN の基本機能 】

・ 自動設定機能

ルータ(IJ が独自に開発した「SEIL シリーズ」)を LAN に接続すると、機器自身が自律的に設定ファイルを読み込み、自動的に設定が完了します。ルータを直接操作して設定作業をする必要がありません。

・ 差分設定配信、機能配信(プッシュ型配信)機能

各種設定を保持する LAN 管理サーバから、設定や機能を任意のタイミングで対象機器(ルータ)へ配信します。

・ 代理監視通知機能

各ルータを監視システムの代理で監視し、結果を特定の監視サーバへ通知します。

【 KVH の提供する広域イーサネットサービス「Ether-MAN」について 】

KVH の Ether-MAN サービスは、従来 LAN 用として開発されたイーサネット技術を、より広域な MAN に適用することで、都市間に点在するお客様の複数オフィス間をひとつの LAN のごとく接続するサービスです。

【 KVH 株式会社について 】

KVH は、世界最大の独立系投資信託運用グループの米国フィデリティ社によって、1999 年に東京を本社として設立されました。自社の光ファイバ網とデータセンターを基盤に、ブロードバンド・データ、インターネット接続、音声、マネージド・サービスなど、包括的な通信/IT マネジメント・ソリューションを法人向けに特化して提供しています。社員数 325 名。

なお、2005 年 1 月 1 日付けで KVH テレコム株式会社は KVH 株式会社に社名変更いたしました。